



一関の四季彩

葉月の風景

磐井川で流燈会 川面に揺れる光の帯 大勢の市民が鎮魂を祈る

1947年にカスリン台風が、翌48年にアイオン台風が襲来し、大水害で多くの尊い命と大切な財産を奪われた一関地方。毎年8月20日は、犠牲者を供養して、災害の記憶を後世に伝えるながら水害のないまちづくりを祈りを捧げます。市社会福祉協議会と一関仏教会が主催する「第66回水難物故者・一般物故者追悼法要と流燈会」は8月20日、磐井川河川敷で行われ、大勢の市民が鎮魂を祈りました。

磐井川観音像の前で行われた追悼法要には、遺族や市関係者ら約40人が参列。御詠歌衆による歌の奉納、一関仏教会僧侶による読経の後、参列者が焼香しました。その後、用意された約500個の灯籠を磐井川沿いの棧橋から静かに流し、物故者の冥福を祈って手を合わせました。



Ichinoseki City 岩手県一関市

東北のほぼ中心、盛岡市と仙台市の中間にある一関市は古くから岩手県南、宮城県北エリアの中核を担ってきました。2005年9月20日に一関市、花泉町、大東町、千厩町、東山町、室根村、川崎村の7市町村が合併。11年9月には藤沢町と合併し、「人と人、地域と地域が結び合い、未来輝く いちのせき」を目指して前進しています。

■面積 1,256.25km² ■人口 126,266人 (男61,020人、女65,246人)
 【DATA】 ■世帯数 46,118戸 ■市花 なのはな ■市木 ぶな ■市鳥 うぐいす
 (以上2013年9月1日現在)

I-Style

No.192

CONTENTS 9月の目次

- 02 **巻頭スペシャル**
ILC国内候補地 北上高地に決定
- 04 **I(愛)な人**
鳥畑慎さん 川崎町門崎
- 05 **一関の四季彩**
磐井川で流燈会
- 06 **特集 藤沢でケアチャレンジ**
ケアの心育む
- 10 **市役所からのお知らせ**
大雨洪水被害 市独自の制度を創設／平泉ナンバーに関するQ&A／放射性物質調査 米・大豆・ソバを出荷前検査 ほか
- 12 **まちなトピックス**
一関・南小、大好きなプールの授業を締めくくる／花泉・金沢公民館で成人学級／大東・大東図書館で「おはなしタイム」／千厩・奥玉で「飛ヶ森音楽祭」／東山・170人が参加「自主防『絆』プロジェクト」／室根・室根中で「2学年進路学習講演会」／川崎・「第19回北上川流域交流Eポート大会」／藤沢・「2013高校生集まれ!バンドフェスティバル in Fujisawa」
- 14 **市民のひろば**
笑顔でGood(細川亜友美)／ふれーふれークラブ(藤沢中野球部)／キッズ写真館／公民館さございん(東山・東山公民館)
- 16 **健康だより**
健康情報／元気のひみつ(内田イワ子)／健康塾(田島厚子)
- 18 **施設だより**
博物館／図書館／催し物案内／掲示板 ほか
- 20 **お知らせ**
募集／催し・講座／相談／お知らせ ほか
- 26 **Pick up**
地ビールの祭典に全国から17,180人
- 27 **秋のイベント情報**
第13回唐梅館絵巻 ほか
- 28 **わたしの夢**
千葉朱惟さん 日形小6年

いな人 File_16

いちのせきを愛する人

技能五輪で世界を相手に「銅」 夢を実現するために努力する期待の若手職人



第42回技能五輪国際大会で銅メダル

鳥畑慎さん

Torihata Makoto 20 川崎町門崎

茨城県ひたちなか市の(株)日立製作所水戸事業所に勤務する鳥畑慎さん(20)は、本市川崎町の出身。今年7月、ドイツ・ライプチヒ市で開かれた第42回技能五輪国際大会「電子機器組立て」職種の出場し、見事銅メダルに輝いた。

子供の頃からものづくりが好きで、ロボットコンテストや電子機器の組み立てなどに興味がわいたという。中学時代、進路指導などのパンフレットに見つけた「技能五輪」の4文字に心が揺さぶられ、ものづくりへの意欲は一気に加速した。

2008年3月に川崎中を卒業。同年4月、茨城県の日立工業専修学校電気科に進み、3年間みっちり学んだ。11年4月、技能五輪の職種「電子機器組立て」を習得するため、日立製作所水戸事業所に入所。連日の厳しい訓練で知識を身に付け、技術を磨いた。努力は実り、12年の第50回技能五輪で日本一に。ついに国際大会出場の切符を手に入れた。

国際大会には53の国や地域から約千人が出場。このうち「電子機器組立て」職種には16カ国16人がエントリー。設計図を読んで加工した部品をはんだ付けする組み立てや障害を発見して改修する技能などを競った。競技は過酷で連続4日間、毎日4時間以上行われた。慎さんは、HITACHIの強力なスタッフと一丸となって世界一を目指した。「体力的にはきつかったが、集中力は途切れなかった」と振り返る慎さん。金こそ逃したが、世界を相手に銅メダルを獲得した。「表彰台に立つことができ、とてもうれしかった」と素直に喜ぶ。



㊦第42回技能五輪国際大会「電子機器組立て」職種の出場で課題に取り組む鳥畑慎さん。表情は真剣そのもの／㊦世界を相手に獲得した銅メダルと賞状

技能五輪の結果は、企業の評価にもプラスになる。「自分のスキルが企業に与える影響は大きい」とプライドをにじませる。

好奇心こそ学びの原動力。知識を身に付け、技術を磨いたら、自分で身の回りのモノを作ることができるようになった。夢を持つ。夢に向かって努力を重ねる。夢は必ず実現できることを身をもって知った。

今後は、指導員として技能五輪と関わり、選手育成に力を注ぐ。一方で、研究や開発の道を歩むため、再び学びの場に身を置くという。プレッシャーを感じるいとまがないほど忙しく、挑戦の日々はこれからも続く。

いつかは世界一を――
止まることのない二十歳のパイオニアは、「最終目標はノーベル賞です」と前を見た。

Profile 1993年一関市川崎町生まれ。日立工業専修学校電気科卒。2011年4月(株)日立製作所水戸事業所入所。13年7月第42回技能五輪国際大会「電子機器組立て」職種の出場で銅メダル獲得。現在指導員として五輪選手育成に励んでいる。茨城県ひたちなか市在住、20歳